

超・長老会員益々元気にテニス合宿

11月18日～19日の2日間、素晴らしい秋晴れの中を古希を過ぎた長老会員による第3回目のテニス合宿が東松山市営コート並びに国立女性教育会館コートで行われた。

第1日目は東松山市営コートで約2時間、秋山氏のリードで乱打・サーブ・レシーブ・ヴォレーの基礎をみっちり練習、流石に皆フラフラの体。

東松山市は強豪松山高校もあり歴史的にソフトテニスのメッカ。我々1年生のときの新人戦の思い出もあり懐かしい地だ。現在の東松山市営コートは昭和42年(1967)の第22回埼玉国体のため建設された観覧席付の8面のオムニコート、おりしも数面のコートでヨネックス主催のママさんテニススクールが開催されており、多数のママさんが(それも相当な経験者)がソフトテニスに興じていたが、その内リーダーと思しき一人は行田女子高時代に浦高の嶺・山田(12期)氏と一緒に昭和34年(1959年)の東京国体に参加したとのこと。(因みに埼玉は高校男子・女子とも決勝に進出したが広島県に敗れた)。世間は狭いものである。「また東松山に来てください」という言葉に送られて嵐山の国立女性会館に移動。

同会館は女性教育のための施設の故か、多くの木々に囲まれて之が素晴らしい秋色を呈しているが、中でも楓・银杏の紅葉は見事である。

例によって会館の食堂で静かに宴会(女性客が多いため)。自室で持ち込みのお酒を楽しんだが、酒豪の佐々木氏(13期)が欠席のためか半分ほど残してしまった。珍しい現象である。

第2日目、昨日は基礎練習であったので、ゲーム中心に行われたが昨日の疲れか、酒の為か一様に身体が重い。それでも9時～11時30分、昼食をゆっくりとって13時～14時までゲームを大いに楽しみ2日間のテニス合宿を終了した。

今回の参加者は下記の通りであるが五十嵐氏は肘痛のためプレーが出来ないにも拘らず見学参加し盛り上げて頂き、何時もながら感謝。又常連の佐々木氏が都合で不参加となったのは残念。

次回は来春になりますが、我々平均年齢70歳超でも元気に楽しんでいきますので、新しい参加者を大いに歓迎します。当日の参加者は写真左から

五十嵐(6期)・榎本(8)・半田(6)・村田(10)・秋山(7)・結城(11)・川北(6)の各氏。



村田 潔 記